

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	一般的な活動する空間としては適切だが、体を動かす体操等にはスペースが狭い為、プログラムの内容を工夫しながら有効に利用している
	②	職員の配置数は適切であるか	突然の職員休みの時には人数不足を感じる固定化した役割にせず、状況に応じて動けるように介護技術を習得していく
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	考慮されているが、トイレ等の丈夫な手摺等の必要性を感じるため、設置する
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	多くの職員が参画できるように定期的に行いたい
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者との面談をして改善されている多くの職員の面談等への参加も今後検討す
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の云報やホームページ等で公開しているか	今回の結果を公表する
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	完全なる第三者の評価については出来ていない、第三者評価機関等への依頼も検討して
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	個別、全体の研修を含め今後検討していく
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	連絡帳、個人記録を保護者とやり取りをしながら希望、ニーズ等を把握している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	標準化されたツールの活用を検討
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	個々の能力や年齢が違うので、個人個人の能力に沿った活動プログラムを実施している新たなプログラムについてはチームで行う
適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	ある程度固定化された活動をすることで安定を図っている面もあり、基本的な流れは同じにし、いくつかの週替わりで変えているリラックスする時間など音や動きなどを併用しながら効果的にしていく
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	プログラムの内容そのものに変更はないが、その前後の過ごし方を工夫したい
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	個別活動については日常生活の動作が中心とし、集団で体操を実施している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	継続通所児童が多いため役割分担が暗黙的に行っている部分もあるので、情報共有も含め細かに行っていく
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	気が付いた事柄などある場合その都度共有しているが、曜日によって職員が変わる場合もあり、全体での共有事項の漏れがないよう気付いたことを書き留めて共有できるノート等
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	相談支援事業所とも連携を継続していく
	⑲	ガイドラインの趣旨の基本的な活動を複数組の合わせて支援を行っているか	今後の支援に組み入れる
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	利用者や直接かかわりのあるスタッフが参画している
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	適宜実施している
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	主治医等の情報は把握しているが直接的な連携よりは親を通じての形となるケースが多
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	現在家族からの情報のみがほとんどなので今後有効利用したい
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する	個人情報に留意し、家族を通し必要な情報の提供を適宜行う
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	今後有効利用していきたい
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	児童の兄弟、姉妹の見学時に交流してる程度のみ
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	事業者連絡会等に参加継続していく
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡用のノート、送迎時の家族との会話、必要に応じて電話等で共有している

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	個別での対応のみ 今後いくつかの共通の問題をテーマに支援の場を作ることを検討していく
保護者への説明責任等	㉑	障害特性、支援の内容、利用目標等について丁寧な説明を行っているか	変更時に適宜
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	提供できる情報は適宜つたえているが、困難ケースも多くなっている
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者間の連携が出来る機会を追加していきたい
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情内容を保護者にも連絡し対応策などの情報を共有していく
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	非常時の内容について情報提供不足な感があるため早々に情報提供を進める
	㉖	個人情報に十分注意しているか	特に注意して
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	今後も継続していく
非常時等の対応	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか	法人全体としての活動に参加している 継続していく
	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	家族への周知がやや少ない為、早々に情報提供を進める
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	避難訓練を行ってはいるが利用者によってできていないケースもある
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	研修を実施しながら継続していく
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	ケースはないが必要に応じて承諾等を得ながら手順に沿って行う
	㉝	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	直接医師からの指示書が出ているケースがないが、指示書があればそれに従い実施して
	㉞	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	よりタイムリーに共有できる方法を検討